

ありがとう 赤鬼

選手のコメント紹介③



高村真湖人君 7

高村真湖人君(3-8)

は滋賀大会を「春夏連覇をした学校は最近はなかったので、自分たちができてよかった。夏の県大会は勝つ

のが難しかったが、甲子園に行くという気持ちをみんなが持っていたので優勝できたと思う。優勝できたのは応援してくれた人や親の支えのおかげなので周りの人に感謝したい」と話した。また甲子園について「小学校低学年からの夢であった甲子園は楽しかったが、大



▶野球部への思いを話す高村君

勢の観客がいて少し緊張した。負けてしまったが、高校野球生活を夢の舞台で終われて幸せだった」と振り返った。2回戦の9回裏での心境について「最後まで諦めない姿勢を貫けた。みんな笑顔でプレーして、アルプスとベンチが一体となった彦根東の野球ができた」と話した。

プレーしてきたチームについて「仲がよく笑顔が絶えなかった。東高の中で一番すばらしいチームだと思う」と微笑んだ。3年間の野球生活を振り返って「辛いことやしんどいことが大半だったが、仲間と乗り越えられた。副主将としてみんな笑顔で終われたのは充実していたことなのでよかった」と話した。最後に後輩に向けて「笑顔を大切に粘り強い野球をしてほしい。笑って全力で野球することを忘れないでほしい」とメッセージを送った。

剛志君(3-6)。甲子園について「自分たちがやりたくてやってきた活動をたくさんの方が応援し感動してくれることを実感できる、非常にすばらしい経験になった」と話した。また2回戦の9回裏を「仲川がホームランを打てたのは応援を力に打った結果だと思う。彦根東の野球の良いところが出せた」と微笑んだ。

太田君はプレーしてきたチームを「個性が強かった。松井がまとめてくれて試合中でも試合外でもコミュニケーションがとれていて、つながりのあるチームだったと思う」と微笑んだ。また3年間の野球生活について「終わってみると早かった。このメンバーでもっと野球をしたかった。最高の舞台で終われて、今までやってきたことは間違っていない。3年間だった」と話した。

最後に後輩に「秋の大会で近

辻山知志君(3-6)は滋賀大会を「因縁のある相手や強い相手が多かったが、それに関係なく自分たちがやるべきことをできた」と話した。

甲子園については「たくさんの方がいて緊張したが、いつも通りのプレーができてよかった」と振り返った。また2回戦9回裏の心境を「ベンチの雰囲気よかった。まだいけると思った」と打ち明けた。

辻山君はプレーしてきたチームを「誰かがすごいとかはなかった。それぞれが自分たちの役割をわかって果たせるチームだった」と微笑んだ。3年間を振り返って「みんながずっと行きたかった甲子園に行けて、目標である甲子園で勝つことができた。満足している」と笑顔で話した。最後に後輩に向けて「甲子園で力負けしたので、そのようなチームに勝てる力をつけてほしい」と激励した。



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

太田剛志君 8

「春の大会と同じようにピッチャーが頑張ってくれた。自分たちのやることをしっかりと

分たし試合運びができたと思う」と滋賀大会を振り返った太田

辻山知志君 9

畿大会にも出て頑張っていた。練習試合もあまりしていないが、焦らず急いで秋の優勝に向かって頑張っていた」とエールを送った。